

四国中央市 ラグビーフットボール協会



～活動概要～

協会の概要

昭和56年4月、社会人クラブチーム「三島クラブ」創部、同時に伊予三島市ラグビーフットボール協会を設立しました。（平成16年度に四国中央市ラグビーフットボール協会へ改称）

当初の加盟団体は三島クラブと三島高校ラグビー部でしたが、平成6年宇摩ラグビースクール、平成11年三島西中学ラグビー部（現在は宇摩ラグビースクールジュニア）、平成15年タッチラグビークラブと加盟団体も増え、現在は幼児から大人までの一貫したシステムを構築しています。

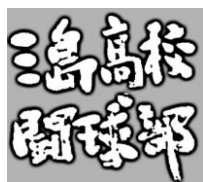
平成18年には三島高校ラグビー部が全国高校ラグビー大会に初出場、更に21年度、24年度、25年度と花園出場4度を数えるとともに、三島クラブも平成30年度、令和元年度に全国クラブ大会に四国のクラブチームとしてはじめて出場するなど、一貫体制の効果により、各年代において活躍しています。

平成29年に開催された「えひめ国体」では、ラグビー少年の部が四国中央市のスカイフィールド富郷で開催され、本協会から多数競技役員や補助員として準備から運営に携わりました。

所属団体



三島クラブ 社会人クラブチーム（18歳以上）



三島高校 高校ラグビー部

宇摩ジュニアラグビースクール 中学生年代

宇摩ラグビースクール 幼児～小学生

タッチラグビークラブ02 年齢制限なし

三島クラブ

三島クラブは昭和56年、三島高校ラグビー部OBを中心に、伊予三島市（当時）周辺のラグビー愛好家が集まって発足しました。以後、昭和57年愛媛県リーグ参戦、昭和62年にAリーグ昇格を果たし、平成8年2月には、愛媛県選手権決勝戦で新田クラブに勝利し、初優勝を果たすと、同年の四国クラブ大会でも初優勝を果たしました。

平成30年には四国クラブ大会で3回目の優勝を果たし、中国大会優勝の岡山クラブにも勝利し、初の全国クラブ大会に出場し、翌年にも2大会連続で全国大会に出場しています。

現在、メンバーは約30人、練習は毎週水・金の週2回、伊予三島運動公園でナイター練習を行っています。

昭和56年（1981）	三島クラブ発足
昭和62年（1987）	愛媛県社会人リーグ Aリーグ昇格
平成8年（1996）	愛媛県選手権初優勝・四国クラブ大会初優勝
平成24年（2012）	四国クラブ大会 優勝（2回目）
平成30年（2018）	四国クラブ大会 優勝（3回目）
平成31年（2019）	全国クラブ大会初出場
令和元年（2020）	四国クラブ大会 優勝（4回目）
令和2年（2020）	全国クラブ大会出場（2回目）



三島高校

三島高校ラグビー部は昭和23年（1948年）に創部した70年以上の歴史があるチームです。昭和年代の三島高校は、新田高校をはじめとした中予地区の高校との実力差が大きく、東予地区では勝てるものの全国大会予選ではベスト4が最高成績でしたが、平成13年に野本聡監督が就任してからは次第に実力をつけ、平成18年に初の全国大会出場を果たしました。

これまで花園での全国大会には4度出場、選抜大会にも2度出場するなど、公立校でありながら愛媛県では常に上位となる実績を誇っています。また、平成26年からは女子部も開設され、これまでに愛媛県高校女子大会では2度の優勝を果たし、平成29年には全国高校選抜女子セブンズ大会にも出場し、ボウルトーナメントで優勝するなどの実績があります。

三島高校ラグビー部の部訓である「前進・信頼・責任」のもと、個々の自立とチーム力の向上を目標とし、地域に根差した活動を行っています。

昭和23年（1948）	ラグビー部創部
昭和42年（1967）	愛媛県高校総体 準優勝
昭和62年（1987）	愛媛県高校総体 準優勝
平成17年（2005）	全国高校ラグビー大会県予選 準優勝
平成18年（2006）	全国高校ラグビー大会（花園） 初出場
平成20年（2008）	全国選抜高校大会 初出場
平成21年（2009）	全国高校ラグビー大会（花園） 出場（2回目）
平成24年（2012）	全国高校ラグビー大会（花園） 出場（3回目）
平成25年（2013）	全国高校選抜大会出場（2回目）
平成25年（2013）	全国高校ラグビー大会（花園） 出場（4回目）
令和元年（2019）	全国高校7人制大会 初出場



三島高校（全国大会の戦績）

年度	大会名	結果
平成18年（2006）	第86回全国高等学校ラグビーフットボール大会	1回戦：10-27 関商工（岐阜県）
平成20年（2008）	第9回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会	1回戦：5-54 尾道（広島県） 敗者戦：7-67 流通経済大柏（千葉県）
平成21年（2009）	第89回全国高等学校ラグビーフットボール大会	1回戦：17-26 北見北斗（北北海道）
平成24年（2012）	第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会	1回戦：5-43 東京（東京第2地区）
平成25年（2013）	第14回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会	予選 L：0-77 秋田工業（秋田県） 予選 L：0-66 目黒学院（東京都） 予選 L：10-67 大阪朝鮮（大阪府）
平成25年（2013）	第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会	1回戦：53-0 富山第一（富山県） 2回戦：7-72 大阪朝鮮（大阪第3地区）
平成29年（2017）	第6回全国高等学校選抜女子セブンズラグビーフットボール大会 ※ボウルトーナメント優勝（予選3位グループ）	予選：0-46 國學院栃木 予選：5-20 名古屋レディース ボウル1回戦：34-0 東北選抜 ボウル決勝：31-14 北海道・関東選抜
令和元年（2019）	第6回全国高等学校7人制ラグビー大会	予選：12-35 札幌山の手（北海道） 予選：29-7 米子工業（鳥取県） プレート1回戦：12-15 高知中央（高知県） プレート順位戦：12-35 新潟工業（新潟県） プレート順位戦：10-42 朝明（三重県）

全国高等学校ラグビーフットボール大会：4 回出場

全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会：2 回出場

全国高等学校7人制ラグビー大会：1 回出場

宇摩ジュニアラグビースクール

宇摩ジュニアラグビースクールは三島西中学校ラグビー部が平成9年に創部されたことに伴い、四国中央市内（当時：伊予三島市・川之江市・土居町・新宮村）の宇摩ラグビースクール卒業生が中学校でもラグビーを継続して行うことを目的に平成10年4月に開校しました。

開校当初は三島西中学校にしかラグビー部がなかったため、愛媛県中学総体や新人大会には人数不足で参加出来ませんでした。平成13年に中体連が合同チームの各大会への参加を可能としたことから、市内各中学校でも部活動として登録し、四国中央市合同チームとして県総体や新人大会にも参加し、平成28年・平成29年の県総体連覇をはじめ、愛媛県の中学ラグビーの中心として活動しています。

卒業後は多くの生徒が三島高校に進学しており、宇摩ラグビースクールから宇摩ジュニアラグビースクールを経て、三島高校、三島クラブへとつないでいます。

平成10年（1998）	宇摩ジュニアラグビースクール開校
平成14年（2002）	愛媛県中学総体 初優勝
平成17年（2005）	市長杯初優勝、県総体優勝（2回目）
平成19年（2007）	県中学総体 優勝（3回目）
平成25年（2013）	市長杯 優勝（2回目）
平成28年（2016）	県中学総体 優勝（4回目）
平成29年（2017）	市長杯 優勝（3回目） 県中学総体 優勝（5回目）
令和2年（2020）	県中学総体代替大会 優勝
令和3年（2021）	県中学総体 優勝（6回目）



宇摩ラグビースクール

宇摩ラグビースクールは平成6年12月に「伊予三島ラグビースクール」として開校し、旧伊予三島地域の子どもを中心に活動を開始しましたが、宇摩郡（現四国中央市）全体を『ラグビーのまち』にしたいとの思いから、平成10年に「宇摩ラグビースクール」と改称しました。

開校にあたっては「三島クラブ」のメンバーが中心で、「三島高校」、「三島クラブ」を強豪チームにしたいとの熱い思いから、その土壌づくりのための開校でした。

開校当初のスクール生は三島高校の全国大会初出場の中心選手であり、現在も本スクールの卒業生は三島高校や三島クラブで活躍するとともに、本スクールのコーチを務めている者やその子どもがスクールに在籍するなど、地域一貫型の体制が整備されています。

これまでの主な戦績としては四国ラグビースクール大会での優勝をはじめ、ヒーローズカップ関西大会や中四国大会にも四国地区代表として5度の出場を果たしています。

平成7年（1995）	伊予三島ラグビースクール開校
平成10年（1998）	宇摩ラグビースクールに改称
平成15年（2003）	四国スクール大会 高学年の部 優勝
平成16年（2004）	近県交流大会 高学年の部 優勝
平成17年（2005）	近県交流大会 高学年の部 優勝
平成26年（2014）	第7回ヒーローズカップ関西大会出場
平成29年（2017）	第10回ヒーローズカップ関西大会出場
平成30年（2018）	第11回ヒーローズカップ関西大会出場
令和2年（2020）	第13回ヒーローズカップ中四国大会出場
令和4年（2022）	第15回ヒーローズカップ中四国大会出場



ヒーローズカップ関西大会出場（2017年度）



ヒーローズカップ関西大会出場（2018年度）

タッチラグビークラブO2（オーツー）

タッチラグビーとは、タックルなどの身体接触の代わりにタッチで相手を止め、パスをつなぎながらトライを競うタッチラグビーは大人から子どもまで、年齢制限なく楽しめる生涯スポーツです。

O2（オーツー）は、愛媛県では唯一のタッチラグビーチームで、宇摩ラグビースクールや宇摩ジュニアラグビースクールの保護者、ラグビースクールを中心としたラグビー愛好家で結成しています。

タッチラグビー選手としてだけでなく、各カテゴリーの応援団としても活動しているラグビー愛好家の集まりです。



四国中央市長杯ジュニアラグビー大会

四国中央市長杯ジュニアラグビー大会は、平成13年にオープンしたスカイフィールド富郷を会場として、中国・四国地区の中学生ラグビーチームを対象に平成17年から開催しています。

例年5月の連休中に開催しており、中国・四国地区の中学生、約20チームから約600名が参加し、関係者や観客を含めて約1,500人が集う、新年度最初の大規模な大会となっています。

宇摩ジュニアは第1回大会から参加していますが、これまでに3回の優勝経験があります。



四国中央市ラグビースクール祭

平成6年に開校した宇摩ラグビースクールが主催で、平成8年から開催しており、2024年で第27回目となります。

参加チームは四国内のラグビースクールが中心で昨年の大会は10チームから約450人が参加し、関係者や保護者を含めて約1,200人が集う大会です。

開催にあたっては、第1回大会から、コベルコ神戸スティーラーズの協力があり、神戸の選手によるラグビークリニックを実施しており、国内トッププレイヤーから直接指導してもらうことができる底辺拡大にもつながる大会となっています。



三島カップ^o（高校強化プログラム）

はじめてのラグビー体験教室

三島高校ラグビー部の強化を目的として、毎年7月下旬から8月上旬にかけて、伊予三島運動公園において、愛媛県内及び徳島県や岡山県の強豪校と交流試合を実施しています。

8月中旬からの夏合宿とあわせて、秋の全国大会予選に向けた強化プログラムの一環として行っています。

また、三島高校の選手が中心となり、「はじめてのラグビー体験教室」を実施し、競技人口の普及を図る取り組みを進めています。



主な出身選手と進路

平成18年に三島高校が全国大会に初出場して以降、多くのトッププレイヤーを輩出しており、国内最高峰のトップリーグでプレイした選手もいます。

また、強豪大学に進学して活躍する選手だけでなく、文武両道により、国立大学等に進学する選手もあり、地元企業に就職して三島クラブでプレイしながら、後進の指導にもあたっている選手もいます。

スクールから三島高校、大学を経て三島クラブという理想的なサイクルを実現しています。

氏名	三島高校卒業年度	進学先	在籍チーム
友金 嘉生	平成17年度	愛媛大学	三島クラブ
眞鍋 祐樹	平成19年度	帝京大学	三島クラブ
西井 利宏	平成20年度	大阪体育大学	サニックス（トップリーグ）
山口 直希	平成20年度	徳山大学	三島クラブ
大西 辰弥	平成22年度	大阪体育大学	三島クラブ
石川 健太	平成26年度	日本大学	三島クラブ
宇田 龍司	平成28年度	日本体育大学	－
中村 康暉	令和2年度	立命館大学	在籍中

宇摩ジュニアを卒業後に県外の高校に進学して活躍した選手もあり、帰省中にはスクールや高校の練習をサポートしてくれています。

活動に係る経費

スクール、ジュニア、高校ともに強化のためには遠征や合宿が重要となりますが、競技人口の拡大と保護者の負担軽減を目的として、遠征費等の半額を本協会から助成しています。

全カテゴリーへの助成総額は毎年300～400万円（コロナ禍を除く）となっておりますが、安定した活動を継続するための経費であるとともに、強化費用として今後も必要となります。

年度	歳出決算額	うち三島高校への助成額
令和元年度（2019）	4,613,455円	1,784,032円
令和2年度（2020）	682,965円	261,900円
令和3年度（2021）	1,063,275円	420,275円
令和4年度（2022）	2,270,636円	327,662円

活動支援のお願い

これまでも様々な強化事業を実施し、三島高校が全国大会に出場する強豪校となり、地域の活性化にも大きく貢献してまいりましたが、今後もこのような活動を継続し、ラグビーの魅力を広く周知していくことは、本市の魅力向上にもつながっていくものと考えております。

本協会におけるラグビーフットボール競技の発展と、青少年の健全な育成を図るため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本協会の役員

役職	氏名	備考
会長	山中 健太郎	
副会長	高橋 和孝	
副会長	藤田 恭二	
理事長	西川 浩史	事務局
理事	福田 幸児	宇摩ラグビースクール
理事	渡部 振一郎	宇摩ジュニア
理事	松村 克麻	宇摩ジュニア
理事	藤田 敏	宇摩ジュニア
理事	野本 聡	三島高校
理事	坂東 大輔	三島高校
理事	藤原 達也	三島高校OB会
理事	友金 嘉生	三島クラブ
理事	宇都宮 佑介	三島クラブ

役職	氏名	備考
理事	鈴木 聡	三島クラブオーバー
理事	今村 昭造	タッチクラブ O 2
理事	大塚 真治	三島高校保護者会長
理事	瀧本 智紀	ジュニア保護者会長
理事	篠原 辰典	スクール保護者会長
理事	伊藤 紗姫	女子
理事	中村 康一	広報
外部理事	森實 達治	(株)モリオト 代表取締役会長
監査	長野 勝伯	スクール
監査	秦泉寺 保英	三島高校OB会
会計	宇田 秀雄	タッチクラブ O 2
会計	石川 雅博	愛媛県協会社会人・クラブ担当理事
会計	大尾 達也	三島クラブ